

絆

赤井むつみ後援会便り第15号

2012年6月 発行

笑顔あふれる温かい町に！



山車行列 30回を迎える！

7月6日（金）7日（土）の2日間、八雲山車行列が行なわれます！

今年は、なんと30年目となります。「30年続くと伝統になる！」と言われていますが、今までたくさんの方たちに支えられて、続けてこられたことに、心から感謝しています。本当にありがとうございました！

4台のリヤカーで行なった「若人の集い山車行列」から私はかかわっていますが、その時はPRのまずさも重なり、ほとんど見てくださる方もいなくて、とても寂しいものでした。たまに見ている方からは「ねえねえ、これって定時制高校の仮装行列かい？」と聞かれたりしました。次の年は、山車を大きくするために、農家にあった保道車をいただきに回ったり、予算もなかったので、材木の寄付をお願いしたところ、山に立っている木を下さるということになり、枝払いののこぎりを持って出かけ、何時間もかけて1本の木を切り倒したり、看板も手作りで行いシンナーに酔ってしまったり、若くて素人なので、色々なことがありました。でも、そのたびに力を貸してくれたり、アドバイスをしてくれたり、色々な形で支えてくださる方がいました。八雲町内はもちろん、町外にも色々な形で応援してくださる方がいらしたおかげで、30回を迎えることが出来ます。特別大きな催しは出来ませんが、30年間の感謝の心をたくさん込めて、温かい山車行列を目指していますので、是非、ご覧になってください！（もちろん、参加も大歓迎です！！）

今年の見所！

新聞に入る黄色のチラシをお見逃しなく！

- ☆ 「おもいで山車」という先頭の山車に、初代リヤカーの山車4台が絵で復元されています。是非、お見逃しなく！！
- ☆ 北海道三大あんどん祭りの仲間「沼田町」の皆さん20名が太鼓で参加してくださいます。7日には羊蹄太鼓（倶知安町）砂原権現太鼓（森町）浮島竜神太鼓（せたな町）の皆さんの発表と5町の太鼓競演もあります。
- ☆ 熊石レディースネットの方たちのスコップ三味線・よさこいも注目です！

今回の一般質問

1. 『八雲町の風景・地質遺産等を活かすジオパークの実現を』

質 問

八雲町は噴火湾の眺めなど美しい風景が各地で見られ、黒岩の奇岩や熊石の伝説奇岩雲石、鶴田知也文学碑下のユーラップ川の岩場などの地質遺産も数多くあります。更に各所に温泉が湧出し、町全体が地球の公園という意味のジオパークとして最適の地であると思います。

北海道内には、世界ジオパークとして「洞爺湖有珠山」が選ばれ、日本ジオパークには、様似町の「アポイ岳ジオパーク」、遠軽町の「白滝ジオパーク」が認定されており、子ども達の教育や文化活動にも役立っております。

また、ジオパークに認定されたことにより、他市町の大学や高校などの授業活動やエコツーリズムの普及による観光客も増加していると聞いています。

こうしたことから、八雲町の豊かな自然・資源を活用したジオパークの実現を図り、町の活性化を図っていく必要があると思いますが、いかがでしょうか？

町 長

八雲町には黒岩の奇岩や、熊石の奇岩雲石はじめ、貝化石が出土する瀬棚層、ノジュールが出土する八雲層など貴重な地層もあり、地質学の専門家から「素晴らしい地質遺産のある町」との話も伺っています。これらは、エコツーリズムの普及による観光資源や、地球科学の教材として活用できる貴重な資源であると考えていますが、ジオサイトといわれる所の多くは私有地であったり、川岸の断崖や道路未整備の場所にあるなど、その整備や、見学コースの設定、案内板の整備、ガイドの養成などに相当の経費と時間がかかることから、すぐにジオパークとして整備することは難しいと考えています。

現在、町民有志で地質遺産の講演会や現地見学会を行うなど、ジオパークについての学習が始まっていると聞いているので、こうした活動に、町としても一緒に関わりながら観光資源の一つとして、地質遺産の活用方法を考えていきたいと思っています。

質 問

民間の方たちと一緒に関わるということですが、具体的にどのようなことをイメージしていますか？

町 長

私有地の問題は解決できるが、危険箇所があるため、その整備にかなりの経費がかかると思う。しかし、民間で調査・研究を進めている人たちには、出来る限り町として支援していきたいと考えています。

質 問

出来る限りの支援をしていただけるということですので、具体的にお聞きします。調査・研究のため年２回ほど、現地視察に出かけるとき、町有バスは貸せるのでしょうか？

ジオパークは観光としても重要なので、担当課の職員も一緒にガイド養成研修を受講し、民間で対応できない時は、職員が対応ということは可能ですか？

ガイドブックを作成する際、町として情報提供はもちろん、資金援助も可能ですか？

町 長

もちろん、バスは支援します。ガイドも郷土資料館の学芸員と連携し、町としても対応していきます。必要な経費については担当課と相談しながら進めていきたい。八雲町民に町の素晴らしさを是非、知ってもらいたいと思っている。



ジオパークってなに？

ジオとは「土地」「地球」「地理」を表す言葉で、ジオパークは、地球（GEO）の公園（PARK）という意味です。自然資源を対象として行われる観光がジオツーリズムと呼ばれ、ジオツーリズムを楽しむ場所がジオパークということになります。なお、エコツーリズムは自然環境や歴史文化が対象となります。



桜野地区の八雲層の地滑り跡地
（凝灰岩）

野田追川左岸の訓縫層露頭
（水冷破碎岩）



素敵な時間をありがとう！

6月4日（月）、とても嬉しいことに、中学生と一緒に過ごす時間をいただきました。もちろん、その中にはうちの幼稚園の卒園生もいて、制服を着てとても大人っぽくなった姿に感動すると共に、どの生徒も立派で、優しい目をしていることにも感動しました。せっかくの機会でしたので、NPO やくも元気村（私も会員です）が運営する八雲シンフォニーの紹介もさせていただきました。

すると、早速その日の放課後、「シンフォニーを見せてください！」と、2人の生徒が来てくれて、月曜日で図書館が休みなので、ここで勉強したいということになりました。その帰り、勉強させてくれたお礼に！ということで、なんとケーキを買って帰ってくれたのです。「今どきの中学生は大人より気がきくのね！」という声もありましたが、本当にその心遣いに、頭が下がりました。

八雲シンフォニーは、注文無しでの休憩もOKなのに、なんて優しいのでしょうか！ 是非、これから、時間のあるときは、この施設を利用し、いろいろな方たちと出会い、色々な刺激を受け、自分磨きにつなげていってほしい、そして、この施設自体も、そのような場になってほしいと心から思いました。



八雲シンフォニー

昨年4月、5名の利用者さんで始まった「八雲シンフォニー」も、12月には建物も新しくなり、喫茶コーナーもできました。今では利用者さんも12名に増え、喫茶コーナーでの仕事はもちろん、アクリルたわしなどの小物作りや依頼を受けての草取り、掃除などの作業にも取り組んでいます。

喫茶コーナーは、手打ちそば・牛丼、中華丼、ドライカレー、パスタなど500円で食べられる昼食を用意し、ケーキセットやコーヒーなどもあります。でも、一番の特徴は、休憩だけでもOKということです。これから、暖かくなったら是非、散歩のついでに出かけてみませんか？

「場所がわからない」「一人ではちょっと入りににくい」などのご意見も耳にしますが、お電話いただくと、ご案内しますので、遠慮なくいらしてください。お待ちしております！

赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090（赤井）

赤井自宅 栄町56-12 ☎ 63-2090